

JAFCA Japan Fashion Color Association

一般社団法人 日本流行色協会 入会案内

一般社団法人 日本流行色協会（JAFCA）とは？

“COLOR Makes Value” JAFCA は “カラー” で商品の価値を高めます

- 業界の専門家が選んだ、カラーや質感のトレンド情報を会員に発信します
- カラーを共通語に、多様な業種が “共創” する場を提供します
- 自社製品のカラー展開など、「カラーについての悩み解決」に協力します

カラーデザインの向上と、豊かな色彩生活を目指して

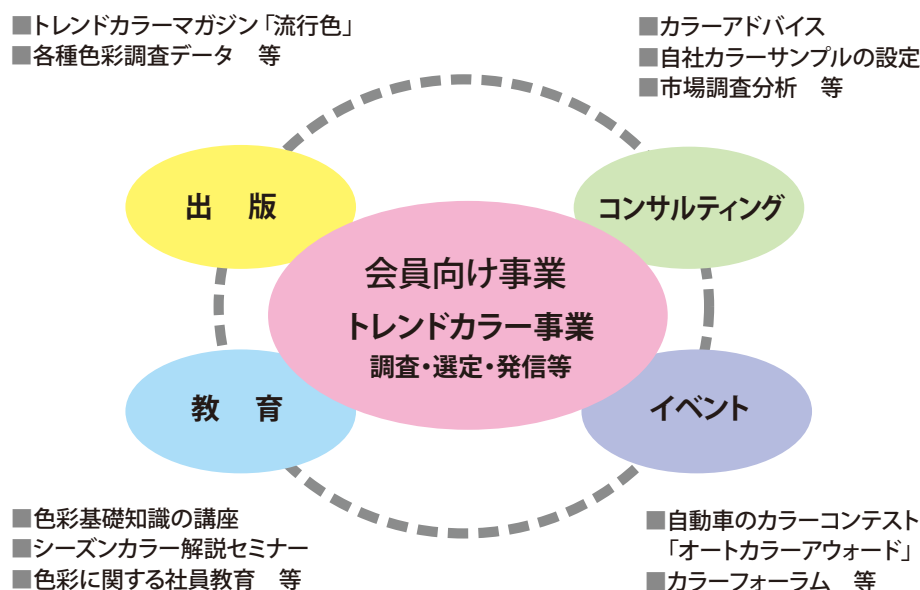
一般社団法人 日本流行色協会は、会員制によりカラーデザインに関する様々な活動をしている団体です。1953年（昭和28）の創立以来、組織の形をかえながらも、一貫して最新のトレンドカラー情報の提供を中心に、セミナーや講座、トレンドカラーの受託事業を行うなど、会員の皆様方のお役に立つ事業を行っています。特にトレンドカラー情報については、長い歴史の中でカラー設計の指針としてその信頼性と的確性が広く認められています。

昨今生活者の嗜好の多様性や個性化にともない、カラー情報もカラー単体ではなく質感までを含めた高度なものが求められ、さらに幅の広い情報活動が必要になっています。多彩な業種が集まる JAFCA の特徴を生かし、業界の垣根を越えた商品動向やカラー情報の相互交換、加えてこれまでの海外のネットワークを強化し、アジアを牽引するべく世界レベルでのネットワーク構築など、さらに会員の皆様のお役に立てる活動を行ってまいります。

JAFCA は、こうした産業界のカラーデザインの向上、ひいては広く世間一般に豊かな色彩生活を提供することを目標として、会員の皆様とともに事業を進めていきたいと考えております。

JAFCA の多彩な活動

カラートrendに関する調査、選定、発信の事業を中心として、カラー専門誌などの「出版事業」、個別に商品カラーのアドバイスをする「コンサルティング事業」、色彩の基礎知識を教える講座などの「教育事業」、カラーに関するセミナーやフォーラムを開催する「イベント事業」など、多彩な活動を行っています。



JAFCA の会員システムについて

JAFCA の会員にお入りいただくと、先に述べた色彩に関する様々な活動や交流の場への参加、また信頼度の高いカラートレン情報の入手など、様々なメリットを受けることができます。会員には以下のような種類があります。

会員の種類

1. JAFCA 会員	2. 部会員	3. 委員会・分科会会員	4. 研究会会員
JAFCA の基本となる会員です。	分野別のトレンドカラー情報を入手できる会員です。 *JAFCA 会員の内容も含まれます。	さらに専門的な分野のカラー情報が入手できる会員です。 *JAFCA 会員、部会員両方の内容も含まれます。	特定の分野について研究活動を行います。 *JAFCA 会員の内容も含まれます。

1. JAFCA 会員 〈年会費：3万5000円〉

JAFCA の基本的な会員です。下記のようなメリットがあります。(すべての会員に以下は適用されます)

- JAFCA の開催する研究会・プロジェクト等への参加資格
- カラートレンドセミナー等の受講料割引、指定するセミナーへの無料招待
- シーズン直近のインターカラー情報を WEB 上で閲覧可能
- JAFCA によるカラーコンサルティングや個別対応セミナー企画等の相談を受けることができる

JAFCA の活動に参加したい方、交流をはかりたい方などにおすすめです。

2. 部会員 〈年会費：17万5000円〉※ JAFCA 会員の内容も含まれます。

JAFCA の発行する各種トレンドカラー情報を入手できる会員です。

- 「レディスウェア」「メンズウェア」「プロダクツ&インテリア」の3部会いずれかに所属し、それぞれの分野毎トレンドカラー情報 (JAFCA ファッションカラー) を年2回発行
 - 時期をずらしながら下記のように3種類の情報を提供
 - すべての部会員に、季刊誌「流行色」(年4回) も送付
- *複数部会御希望の場合、事務局までお問い合わせ下さい。

部会員にお届けする「JAFCA ファッションカラー」の流れと発行時期 (年に2回、春夏、秋冬向けを発表) (レディスウェアカラーの例)

実シーズンの約1年半前

ファッションカラー速報

トレンドカラー選定直後の情報を、JAFCA のホームページでお知らせします。



速報から2ヶ月後

ファッションカラー

色紙、素材、イメージ写真で表現し、詳細な解説を加えたカラーパレットをお届けします。



実シーズンの約半年前

アップデートカラー

コレクションやストリート情報を踏まえ、実市場での有望色情報を、JAFCA のホームページでお知らせします。



季刊「流行色」

年4回発行するカラートレンドの専門誌です。部会員の方すべてにお送りします。

3. 委員会・分科会会員 ※ JAFCA 会員および部会員の内容も含まれます。希望する部会のカラートレンド情報（1部会）も提供されます。

部会員の3分野以外に、グローバルなトレンドカラー情報である「インターカラー日本委員会」、「自動車色彩分科会」「化粧品分科会」の活動に参加することができます。

【インターカラー日本委員会】 〈年会費：33万5000円〉

実シーズンの2年前という、世界で最も早く選定されるグローバルなカラートレンド情報「インターカラー」。世界のカラートレンドの牽引役となっています。カラーの選定会議には、日本からは唯一 JAFCA が代表で参加しています。インターカラー日本委員会に所属すると、以下のようなメリットがあります。

●インターカラー報告会：そのシーズンのインターカラーと、各国が提案したカラーの特徴、また各国が考える、今後のカラーやデザインに影響を与えるインフレンスなどを報告会で詳細に説明。

●決定色解説資料：インターカラー決定色のカラーパレット/カラーの選定経過解説書/加盟各国の提案色と傾向解説 CD /決定色スペアカラー

【化粧品分科会】 〈年会費：31万5000円〉

メイクアップカラーに関連した活動を行っています。以下のようなメリットがあります。

●メイクアップカラー：年に2回春夏、秋冬向けカラーを発行。カラーの選定会議にも参加できる。

●研究会：メイクアップ関連の商品開発に役立つようなテーマで、年に2回研究会を開催。

【自動車色彩分科会】 〈年会費：31万5000円〉

車体色の調査、デザイン開発の視野を広げるためのワークショップ、Auto Color Awards の開催など、独自の活動を行っています。以下のようなメリットがあります。

●研究会：発想トレーニングの為のワークショップを開催。

●車体色調査：年1回メンバーよりデータ、色見本等を提出していただき、車体色調査報告書を作成。(四輪部門のみ)

●Auto Color Awards (優秀なモビリティのカラーデザインをたたえる賞。1998年度より実施)：イベントに企画段階から参加できる。



インターカラー会議風景



4. 研究会会員 〈年会費：15万5000円〉 ※ JAFCA 会員の内容も含まれます。

注目されるテーマを取り上げ、研究会活動を行う会員。現在「U.Ge (アッパー・ジェネレーション) カラーデザイン研究会」として、50代以上の新しい大人世代の情感に訴える色彩について、調査やカラートレンドの選定等の自主活動を行っています。

※季刊「流行色」年間購読 〈年間2万円+税・送料〉

部会員の方以外でも、「流行色」のみを購読することもできます。年4回(3、5、9、12月)発行、A4判変型、オールカラー70頁程度

【主な内容】 ●シーズン1年前のインターカラー、JAFCA カラーを掲載 ●ファッションや家電製品などのシーズン毎の市場のカラー動向分析 ●海外のデザイナーコレクションや展示会動向 ●ヒットカラーの裏側や、新しいライフスタイル分析その他、カラーデザインに関する話題を掲載。



“カラートレンドの流れは、インターカラーからはじまる”

世界的な流行色情報「インターカラー」は、実シーズンの2年前からトレンドカラー情報を選定、その後の世界中のトレンドカラーの流れに強い影響力をもっています。JAFCA カラーはその情報をもとに選定されています。

何気なく流行していると思われるファッションの流行色も、あらかじめカラー動向を予測する会議が行われ、その方向付けがなされているのです。「インターカラー（国際流行色委員会）」は世界各国（現在13カ国）の代表が集まり、世界で最も早い、実シーズンの2年前からトレンドカラーを検討する会議を行っており、その後のカラー動向に大きな影響を与えています。1963年の発足ですが、日本は発起国のひとつとして第1回目の会議からJAFCAが代表として参加しています。

このインターカラーをもとに、JAFCAは日本の専門家とともに国内向けのカラーを選定し、会員に向けて発表しています。その間、世界各国で開催される素材や布地の展示会、デザイナーコレクションなど下図のような流れを経て、最終的に商品となって店頭に並びます。

カラーの流れは細かく言えば様々な動きはみられますが、そのベースには、インターカラーからはじまる大きな流れが強く影響を与えているのです。

最近では携帯電話やデジカメなどの家電製品や自動車、雑貨などでもファッションと同様のカラーの動向がみられ、今やトレンドカラー情報は、生活の中の様々な分野に影響力が及んでいるといえましょう。

